

令和元年度 社会福祉法人 大阪市旭区社会福祉協議会事業報告

団塊の世代がすべて75歳以上となる令和7年（2025年）を念頭に、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築が喫緊の課題となっています。

近年、高齢化の進展に伴い、ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加する中、「食料品は近隣で買えるけど、衣料品が近くで売っていない」といった、日常的な買い物支援を必要とする方も増えています。その支援のための仕組みづくり、地域づくりが重要となってきています。

これらの課題を踏まえ、旭区社会福祉協議会では、生活支援体制整備事業を軸として、地域住民、高齢者福祉施設、地域支援担当、区地域包括支援センターが協働し、高齢により交通機関を利用した外出や一人で外出することが困難な方を対象に「お買い物ツアーお試し会」を昨年12月に開催いたしました。

地域の福祉施設より車両での送迎とスタッフの提供、地域住民の方は買い物際の付添いボランティア支援、区社協は実施主体として生活支援体制整備事業担当が中心となって、地域支援担当、区地域包括支援センターと協働し取り組みました。

また地域資源情報冊子の「あさひふれあいMAP」の発行や男性の活動の場や居場所づくりとしての「男のカフェ火の鳥」、地域での居場所づくり活動や担い手となることを目標とした「コミュニケーション麻雀講座」も引き続き開催し進めてきました。

いわゆる「孤立死」に代表されるような社会的孤立など地域における生活課題は複雑化・多様化・深刻化し、認知症高齢者等が増加するなかで、区地域包括支援センターと見守り相談室が協働し、「地域における見守り支援について考える会」を開催しました。

町会長、民生委員などの地域住民の方、医療機関、ライフライン事業者、警察、消防、行政関係者が集まり意見交換を行い、現状の把握と今後の支援について情報を共有しました。その中で「見守りカード」を支援ツールの一つとして、再検討し新たに活用を進めるきっかけとなりました。

また見守り相談室においては、地域の見守り等につなげるため、各地域振興町会や各地区民生委員児童委員協議会への要援護者名簿の提供、孤立世帯等への専門的対応、また高齢者の行方不明時の早期発見の取組みも引き続き進めてきました。

ボランティア・市民活動の推進としては、ホームページの一新に伴い、ボランティアグループ一覧ページもリニューアルし、より一層見やすく、グループ情報がわかりやすくなりました。また公的サービスでは対応が難しいちょっとしたお手伝いをする「ちょこっとボランティア」の取組みも少しずつですが、動き始めました。

グループ支援として、「福祉ボランティア活動応援資金」による活動助成や様々なアドバイスを行い、区内の大学への福祉教育を開催しました。

各地域のお祭り、運動会、防災訓練、ふれあい喫茶、食事サービスなどでは、地域のみなさまと親睦を図りながら情報収集を行い、太子橋の食事サービス委員会においては

区社協と協働で、明治乳業の方を講師として招き、ボランティアの研修会を開催し好評を得ました。また、各連合の町会長会議にオブザーバーとして参加させていただき、必要に応じて情報提供を行い、地域福祉の推進に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区社協主催事業や地域活動等が中止・延期となり、訪問も通常のように行えない中、電話や手紙等による安否確認や、感染予防のための情報提供を行うなど、つながりを絶やさないよう取り組みました。

1 地域福祉活動事業

事業名	開催月	開催回数	開催場所	内容
理事会	6月・3月	3回	旭区在宅サービスセンター	6月 事業報告・決算(案)他 会長、副会長の選任他
評議員会	6月・3月	2回		3月 事業計画・予算(案)他
第11回子育てわいわい広場 inASAHI	7月	1回	旭区民センター	子育て中の方同士の交流や情報交換、支援者のつながりづくり、子育て情報発信の場にするを目的として開催 参加者数 350人
第45回 旭区民まつり	8月	1回	旭公園 グラウンド	・さかなつり、たこせんの販売 ・PRチラシ等の配付
旭区ふれあい広場	11月	1回	旭区民センター	地域での社会福祉活動を支援し、ふれあいの場を通じて共に生きる社会づくりを進めていくことを目的として実施 参加者数 501人
しょうぶ大学	10月 ～12月	6回	旭区在宅サービスセンター 旭区民センター他	・手打ちうどんづくり ・介護予防体操 ・認知症サポーター養成講座 ・旭区まち歩き、カレーづくり 他 延べ参加者数 29人
しょうぶ大学 OB会	4月～3月	14回	旭区在宅サービスセンター 他	施設見学・勉強会・定例会議・ボランティア活動 延べ参加者数 291人
(ママ&パパ)ゆるり マタニティカフェ	4月～3月	11回	町家カフェ ゆるり	「子育てはおなかの中から始まっています」、新しい命の誕生を迎えるママとパパを、小児科医と先輩ママやパパ、地域のみなさんが、お茶を楽しみながら気軽に交流、情報交換できる場として開催 延べ参加者数 244人
パパ&ママクラブ	毎月	1回	旭区子ども・子育てプラザ	「マタニティカフェ」のパパ&ママたちがカフェ卒業後、孤立せず楽しく子育てできる環境づくりと交流の場としてグループ化を図り、また、虐待やネグレクトの防止を図る。延べ参加者数 44人
子育てトーク	5月～9月	8回	旭区在宅サービスセンター	子育て中の保護者の不安解消を図るため話し合いの場づくりと、この事業に携わるボランティア育成を目的として実施 延べ参加者数 71人
共同募金活動協力	10月	6回	千林商店街 周辺	街頭募金活動 参加者数 71人

事業名	開催月	開催回数	開催場所	内容
旭区社会福祉施設 連絡会	4月～3月	6回	旭区在宅サ ビスセンター 他	総会、勉強会、情報交換、情報提供
あさひ子育て安心 ネットワーク会議	6月 11月	2回	旭区役所	6月 キッズネット推進モデル事業に ついて、地区ネットのあり方に ついて（地域別に討論） 11月 キッズネット推進モデル事業の 報告と総括、こども相談センタ ーについて
子育てサロン連絡 会	4月・6月 9月 12月	4回	旭区在宅サ ビスセンター 旭区役所	定例会議
あさひの輪	6月・9月 12月	3回	旭区在宅サ ビスセンター	定例会議及び情報交換
こども食堂ネット ワーク会議	4月・6月 10月 12月 2月	5回	旭区役所	定例会議及び情報交換
マタニティカフェ 5周年イベント	10月	1回	中野こども病 院	・木野ドクターと子育てママのトーク ショー ・キッズシアターかみふうせんさんによ るお楽しみ会（人形劇、手遊びなど） ・「医師 木野先生とママのQ&A」の配 付 参加者数84人
広報紙発行	6月・9月 12月 3月	4回	—	65号～68号旭区社会福祉協議会だ より発行（区役所広報紙挟み込み） 各42,000部発行

2 ボランティア・市民活動センター事業

1 ボランティア・市民活動センターの運営

	事業名称	備考(内容・参加人数等)
1	旭区ボランティア・市民活動センター運営委員会	令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画について、書面開催

2 ボランティア養成

	事業名称	実施内容・参加人数
1	初級手話講習会	日程：5月11日(土)～9月28日(土)までの 毎週土曜日(祝日を除く、全20回) 参加者：22人 延べ：230人

3 ボランティア活動への支援

	事業名称	実施内容・延べ参加人数
1	視覚障害者ダンス交流会 (年2回、6月・12月に開催)	視覚障がい者の外出の機会と交流の場づくりのために「視覚障がい者ダンスサークル“アイ”」が開催する社交ダンス交流会に協力、出席 ○開催日：6月1日(土) ○開催日：12月7日(土)
2	セブンゆう「のどじまん&うでじまん」	高齢者、障がい者の生きがいをづくりのために「セブンゆう」が開催する「のどじまん&うでじまん」への協力 ○開催日：11月17日(日)
3	「子育てトーク」の開催(全8回)	子育て支援ボランティアグループ「のびのび」と共催で「子育てトーク」を開催。「のびのび」の活動支援とともに、区内で子育て中の親子への支援の場とする。 ○開催日：5月9日、5月23日、6月13日、26日、7月11日、25日、9月12日、26日 参加者：6組(親6人・子ども6人) 延べ：71人(親35人・子ども36人)
4	ボランティアグループ活動の推進	ボランティアグループの活動支援として、各グループの定例会などに随時出席
5	ボランティア・市民活動センターの活用	活動の場としてボランティアルーム、多目的室の貸し出し、メールボックスの設置
6	機材の貸し出し、活用	コピー機、輪転機、ラミネーター等の機器、文具品の貸し出し

4 啓発・広報

	事業名称	実施内容・啓発先
1	旭区社会福祉協議会だより「あさひ」の発行	年4回発行 区広報紙に挟み込み (6月・9月・12月・3月) 登録ボランティア(個人・グループ)へ送付
2	「旭区ボランティア・市民活動センターだより」の発行	登録ボランティア(個人・グループ)へ送付 関係機関での窓口設置・区社協ホームページ上 (年2回)

3	旭区社協ホームページ「ボランティア・市民活動センター」の管理・運営	区社協ホームページ上のボランティア・市民活動センターの紹介、登録ボランティアグループ及び市民活動グループの紹介一覧の更新、ボランティア活動募集ページの管理・運営
---	-----------------------------------	--

5 福祉教育

	実施場所	対象者	参加者数	実施内容・使用教材
1	大阪工業大学	大学3年生	27人	車いす・アイマスク体験・高齢者疑似体験・認知症サポーター養成講座 ○開催日：8月10日
2	大阪市立今市中学校	中学1年生	146人	・車いす体験学習（2日間） ・当事者の講話 ○開催日：11月6日、13日

3 地域包括支援センター事業

当センターは、大宮地域・高殿地域・高殿南地域を担当しており、出張介護相談会や見守り巡回等を行い地域関係者、区内関係機関との連携を図りながら、より細やかな支援に努めているほか、圏域内の認知症カフェでの相談や運営支援を行っています。認知症予防の取組みとして、「もの忘れの気になる人の会」「もの忘れの気になる人の会 in 大宮」を定例開催していますが、「もの忘れの気になる人の会 in 大宮」に参加された方より「ぜひ中宮地域でも開催したい」という声があがり、中宮地域の方々・担当圏域地域包括支援センターと協働し、「もの忘れの気になる人の会」を、令和元年度から中宮地域でも定例開催するようになりました。また、各地域における認知症予防の取組みに向けた人材育成および新たな社会資源の開発として、「もの忘れ予防ゲームリーダー養成講座」を開催しました。

令和元年度 事業実績報告

総合相談件数		令和元年度累計		
相談件数	訪問・出張による相談	1,094件		
	電話による相談	4,229件		
	来所による相談	1,076件		
	その他	64件		
	延べ相談件数	6,463件		
	相談実人員	838人		
	訪問による相談実人員	367人		
相談内訳	家庭・家庭問題	114件	保健・医療サービスに関する事	452件
	経済・生活問題	1,493件	虐待に関する事	755件
	介護サービスに関する事	1,481件	成年後見制度の活用に関する事	144件
	介護予防サービスに関する事	1,250件	生きがいづくり	338件
	介護予防事業に関する事	159件	その他	165件
	福祉サービスに関する事	112件		
包活的継続的ケアマネジメント	介護支援専門員個別相談件数	1,447件		
	居宅介護支援事業者連絡会の開催・参加	主催 11回		
	介護支援専門員への研修会	主催 2回		
会議開催・参加状況	地域ケア会議開催（高齢者個別支援）	主催 9回		
	地域ケア会議開催（自立支援型検討会議）	主催 11回		
	ランチ連絡会	主催 6回		
	その他ネットワーク構築の為の会議	主催78回	共催41回	参加73回
	地域との関係づくり	主催 0回	共催 3回	参加45回

4 介護予防・日常生活支援総合事業

要支援者自身の能力を最大限生かしつつ、利用者の状態やニーズに応じて適切なサービスが受けられるよう、介護予防ケアプラン作成にかかる一連の過程を通じて、包括的かつ効果的に実施されるよう援助を行い、事業対象者が要介護・要支援状態となることを予防しています。

給付管理総数(述べ件数)	一部委託事業所	旭区地域包括支援センター
6,788件	6,302件	486件

5 在宅福祉サービス事業

(1) 通所介護事業(デイサービス)

介護保険の要介護認定、また要支援認定を受けられた方を対象として、送迎、入浴、食事、各種レクリエーション、生活相談などのサービスを提供しています。利用者の方や地域の方々にご参加いただき運営推進会議を開催し、ご意見・ご要望をお聞きし地域に密着した事業として取り組みました。ふれあいを大切に、みんなで楽しい食事・介助入浴、体操やゲーム、カラオケなどで楽しく過ごしていただけるよう、個別のプランに基づいての援助を心がけています。またご家族に対しても、精神的・身体的に介護負担の軽減ができるよう支援しています。

契約者数(令和2年3月末現在)	30人	
開設日数	241日	
延べ利用者数	2,766人	
要支援	要介護1	960人
	要介護2	387人
	要介護3	443人
	要介護4	591人
	要介護5	385人
要介護5	0人	
1日の平均利用者数	11.4人	

(2) 居宅介護支援事業

利用者及びそのご家族が、住み慣れた地域で自分らしく過ごすために、介護に関する相談に応じ、利用者の生活の質の向上や家族の介護負担の解消等もふまえ、介護保険サービスやその他のサービス利用に必要なケアプランを作成を通じて、利用者のご家族の支援をしました。

ケアプラン作成件数 (令和2年3月末現在)	要支援	186件
	要介護	300件

(3) 大阪市介護予防教室(なにわ元気塾)事業

65歳以上の方が、毎月1回教室に参加し、地域の人と交流の機会をもつことで、交友関係が広がり、認知機能や生活全般の活性化を図り、自立した活動的な生活を送ることができるとを目的に実施しました。生活機能の向上や認知症予防等の観点から、栄養、口腔衛生の話や体操、手芸、音楽などレクリエーション等を行い、楽しみながら閉じこもり防止につながる教室を各 地域で通年開催しました。

・開催場所(各地域の老人憩の家など)	10か所
・実施回数	105回
・参加延べ人数	1,617人
・1回の平均参加人数	15.4人

(4) あんしんさぽーと事業

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方の権利擁護を目的として、福祉サービスの利用援助、金銭管理サービスや証書等の預かりサービスを行い、地域で自立した生活が送れるよう日常生活を支援しました。

令和2年3月末での利用登録者数は119人となっています。

①相談件数

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
1,952件	1,579件	1,872件	115件	5,518件

②利用人数

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
45人	36人	36人	2人	119人

③待機人数

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
4人	1人	1人	0人	6人

6 生活福祉資金事業

主な貸付対象者は、低所得者、障がい者または高齢者の世帯となっており、民生委員児童委員協議会やくらし相談窓口、区役所等と連携を図りながら支援を行いました。

3月25日からは、新型コロナウイルス感染特例の緊急小口資金および総合支援資金（生活支援費）の申請受付を行いました。

令和元年度事業実績報告

	相談件数 (延べ)	種 別	貸付件数	備 考	
生活福祉資金	822 件	福祉資金	20 件		
		内 訳	技能習得費	1 件	
			住宅改修費	0 件	
			冠婚葬祭費	1 件	
			転宅費	1 件	
			その他日常生活費	9 件	エアコン・冷蔵庫・給排水設備費等
	緊急小口資金 ※	8 件	公的給付・初回給与等までのつなぎ		
	194 件	教育支援資金	9 件	高校・大学等費用	
		内 訳	教育支援資金	4 件	※教育支援費と就学支援費の両方貸付
			教育支援費	1 件	
	就学支援費	4 件			
	59 件	総合支援資金	1 件	離職者に対する貸付	
		内 訳	生活再建費	0 件	
			住宅入居費	0 件	
	一時生活再建費	1 件			
	65 件	不動産担保型生活資金	0 件	住宅を担保にした貸付	
内 訳		不動産担保型生活資金	0 件		
		要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0 件		
臨時特例	0 件	臨時特例つなぎ資金	0 件		
新型コロナウイルス感染症特例	71 件	緊急小口資金	8 件	※但し件数は、府社協申請済み数	
		総合支援資金(生活支援費)	2 件		

7 あさひ学び舎事業

学業や進学が十分に用意されていない生活困窮世帯等の子どもが成長し、再び生活困窮に至るという「貧困の連鎖」断ち切るために、生活困窮世帯の中学生を対象に学習支援、生活指導や開発教育などを行い、高校進学による自立促進や中退防止支援として、学習支援、相談支援、体験を中心とした生活力開発支援などの事業を実施しました。また、令和元年度より中・高校生を対象に自立心や自尊心、自己肯定感を育み、自らの将来像を考える力、生き抜く力を醸成するために自立育み支援事業を行いました。

内 容	実 施 回 数	参加者延べ人数
学 習 支 援	97回	969人
食 育 事 業 (調理実習等)	12回	96人
コミュニケーション	12回	69人
その他(郊外学習)	1回	19人

・参加者内訳

高校2年	—	9人
高校1年	—	3人
中学3年	—	13人
中学2年	—	5人
中学1年	—	7人

・進学先(中学3年13人中13人が進学)

東海大学付属大阪仰星高等学校	1人
大阪市立中央高等学校	3人
大阪市立東高等学校	1人
大阪市立第二工芸高等学校	1人
大阪市立鶴見商業高等学校	1人
大阪府立茨田高等学校	1人
大阪府立門真西高等学校	1人
大阪府立野崎高等学校	1人
大阪府立成城高等学校	1人
東大阪大学柏原高等学校	1人
N高等学校	1人

<高校生生活力開発支援事業>

働くマナー講座	1回実施	4人
浴衣の着付講座	1回実施	4人

楽器演奏講座	3回実施	7人
校外学習	1回実施	6人
茶道講座	2回実施	4人

合計 10回実施 25人

・スタッフ体制	コーディネーター	—	2人
	サポーター	—	10人

<自立育み支援事業>

企業の仕組みを知ろう	1回実施	4人
パラグアイハープ（アルパ）を 通じて世界の音楽を体験しよう	1回実施	8人
薬剤師のお仕事を知ろう	1回実施	9人
美容師のお仕事を知ろう	1回実施	7人
農業を学ぼう	1回実施	8人

合計 5回実施 36人

・スタッフ体制	コーディネーター	—	2人
	サポーター	—	3人

8 見守り支援ネットワーク強化事業

行政が保有する要援護者情報により、地域におけるきめ細やかな見守りネットワークの実現をめざすことを目的として、次の3つの機能をもとに見守り相談室として事業を実施しました。

(機能1)

要援護者名簿に係わる同意確認、名簿整理

	発送数	回答数	訪問件数
第1回(令和元年8月)	546	409	240
第2回(令和2年2月)	552	(内同意数 274)	

名簿提供件数

提供月	名簿提供件数
令和元年4・5月	1,534
9・10月	1,604

※ 地域での見守りを希望される要援護者の方の名簿を同意確認のうえ、各連合振興町会、各地区民生委員児童委員協議会に提供

(機能2)

①地域社会とのつながりを持つことが困難で、社会から孤立する危険性の高い要援護者世帯、セルフネグレクト等の専門相談及び見守り支援

相談形態	
訪問による相談	938件
電話による相談	1,282件
来所による相談	129件
その他	779件
延べ相談件数	3,128件

相談・支援内容					
経済・生活上の問題	688件	就労	0件	ごみ屋敷	36件
福祉	434件	いきがいつくり	299件	その他	1,779件
保健・医療	164件	虐待	0件		
介護	82件	家族・家庭問題	5件		
子育て	0件	見守り訪問	261件	計	3,748件

②出張見守り相談室（みまもり庵）

開催回数	109回
------	------

〔相談対応件数〕

内 容	件数	内 容	件数
安否確認	90	地域団体との連携	31
助言・指導	45	他機関を紹介	21
情報提供	88	介護保険申請	10

(機能3)

行方不明等の恐れのある認知症高齢者等のメール配信による早期発見、保護支援

① 協力者

	令和元年度（新規）	累 計
協定団体	5団体	41団体
協力者数	13件（人）	199件（人）

② 申請者

登録者数	48人
検索依頼件数	6件

◎認知症高齢者等支援対象者情報提供制度

大阪府下の警察署から認知症又はその疑いのある高齢者等の保護・行方不明等事案について、管轄区域に該当する見守り相談室に必要な事項の情報提供があった場合、その情報をもとに、見守り相談室では、そのご本人やご家族に本事業の事前登録手続きや徘徊認知症高齢者位置情報探索事業の説明を行い、その方のご意向に添った登録手続き等を進めます。今年度も地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等と連携し、早期治療による行動・心理症状の軽減、症状進行の緩和へと支援をつなげました。

警察からの情報提供案件	74件（延べ件数）
-------------	-----------

◎旭区医師会ものわすれ出張相談&認知症カフェ

認知症の方とその家族を支える場として、医師会、地域包括支援センターと連携して、認知症カフェを開設しました。安心して集える場として、3圏域で開催しています。

圏域	認知症カフェ 開催回数	延べ参加者数 (ボランティア含む)
旭 区	10回	89人
旭区西部	10回	64人
旭区東部	10回	279人
合 計	30回	432人

9 子育てサービス利用者支援事業

子育てに関することの身近な相談窓口として、一時預かり、学童情報、保育園・幼稚園、子育てサロンなどさまざまな役立つ情報を提供します。旭区役所2階にて、月～金曜日に窓口を開設しています。

1 相談業務

◎ 相談件数

相談件数				
来庁	電話	出張相談	その他	計
891	48	443	0	1,382
対応別延件数計				
1,638				

◎ 相談内容区分

区分	相談件数	対応別延件数	備考
保育・教育	100	100	
地域子育て支援	63	63	
認可保育所	797	830	入所書類援助・保育所情報提供
認定こども園	45	74	入園援助・こども園情報提供
幼稚園	165	204	入園援助・幼稚園情報提供
地域型保育(保育ママ・小規模保育)	6	12	地域型保育園情報提供
認可外保育施設	46	99	認可外保育園情報提供
一時預かり	66	82	大阪市一時預かり事業情報提供
病児・病後児保育	15	16	旭区・隣接区病児保育施設紹介
地域子育て支援拠点事業	36	56	旭区・隣接区子育て施設情報提供
子育てサロン	8	35	
その他子育てサークル	0	2	
ファミリーサポート	9	19	
放課後児童等	11	11	旭区内学童・有料学童情報提供
その他	7	12	キッズカード・保健活動
アレルギー児に関する相談	0	0	
外国籍住民からの相談	0	0	
将来の子育て家庭相談	0	0	
その他	0	4	
適切行政窓口紹介	0	10	
専門機関紹介	0	3	
その他	0	4	
計	1,382	1,638	

2 広報情報発信

<p>広報活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○サロン、プラザ、区民センター等での出張相談業務時や健診時、子育て支援施設訪問時に配布 ○生涯学習センター梅田、クレオ子育て館、クレオ東、区内郵便局、産婦人科、商業施設 ○旭区役所広報あさひ掲載 5月、ホームページ掲載 4月 ○旭区社会福祉協議会だより掲載 6月・9月・12月・3月 ○旭区社会福祉協議会ホームページ掲載 5月
<p>情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○旭区民センター 『情報フェア』 8月 入園・入所の流れについての講座と個別相談を実施 ○「あさひ子育てガイドの入園・入所ガイド」 <ul style="list-style-type: none"> ・旭子育て支援センター 7月・10月・2月 ・つどいの広場おさんぽ 10月・12月・2月 ・つどいの広場花しょうぶ 6月・10月・1月 ・旭区子ども・子育てプラザ 6月・9月・1月 ○保健福祉センター分館 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児3か月、1歳半健診 毎月2回 ・スプーンクラブ（離乳食講座）毎月1回 ・プレママカフェ毎月1回 ・すくすく（プレママ講座）年6回 ○マタニティカフェゆるり 毎月1回開催 ○「あさひあったか広場」 毎月1回開催 「保育所・園、幼稚園の入所・入園に関して」「幼児教育・保育無償化」「一時預かり事業実施施設」「病児保育施設」「親子で遊べる場所」等、旭区在宅サービスセンターにて、子育て情報の掲示と個別相談
<p>作成資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○しょうぶちゃんマップ 9月改訂 ○あさひ子育てガイドちらし ○あさひ子育てガイドによる情報ガイドちらし ○あさひあったか広場イベントチラシ ○地域子育てサロンチラシ作成 ○一時預かり事業実施施設(11月・3月改訂) ○病児保育実施施設（6月改訂） ○認可外保育実施施設（10月・2月改訂） ○旭区周辺親子で遊べる場所チラシ作成 ○学童の居場所チラシ作成

3 開催イベント

○情報フェア 旭区民センター 8月開催

○あさひ子育てガイドの入園・入所ガイド

・旭子育て支援センター 7月・10月・2月

・つどいの広場おさんぽ 10月・12月・2月

・つどいの広場花しょうぶ 6月・10月・1月

・旭区子ども・子育てプラザ 6月・9月・1月

○あさひあったか広場開催 旭区在宅サービスセンター 月1回開催

・親子で遊ぼう！ 4月26日

・ベビーマッサージ 5月24日

・ペープサート 7月26日

・入園・入所ガイド 9月27日

・ミュージックケア 10月25日

・英語で遊ぼう！ 11月22日、1月24日

10 生活支援体制整備事業

少子高齢化が進む中、高齢者の生活支援サービスに応えるため、生活支援コーディネーターは、地域の実情を踏まえてニーズを掘り起こし、そのニーズに合った資源の把握に努め、高齢者の社会参加を促進することが介護予防につながるということから、居場所づくりや活動の場の開発などの支援に取り組みました。

	事業名	開催月	開催場所	内容
①ニーズと地域資源の把握・ネットワーク化	協議体の開催	7月	旭区在宅サービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> 旭区内の高齢者に関する課題共有、意見交換 旭区内における移動（外出）支援について
	協議体小会議の開催	6月～3月	旭区在宅サービスセンター他	<ul style="list-style-type: none"> 地域における買い物支援に関する協議体小会議（1回） 大宮地域におけるお買い物ツアー実施に向けた検討会議（4回） 城北地域における畑を活用した地域交流の場づくりに向けた意見交換会（5回） 認知症サポーター取得者の活動支援検討会（2回） 「もの忘れの気になる人の会in中宮」の立ち上げに向けた検討会議（3回） 高殿地域1～2丁目の社会資源の創出に向けた検討会議（2回） 高殿南地域におけるマッピングに向けた検討会議（2回）
	情報収集	4月～3月	各地域 他	<ul style="list-style-type: none"> 各地域での取組み（食事サービス、ふれあい喫茶、百歳体操等）での聞き取り 地域ケア会議等への出席 高齢者の移動（外出）に関するアンケートの実施、分析
②地域資源・サービス開発	生活支援サービスの創出	不定期	各地域 他	<ul style="list-style-type: none"> ちょこっとボランティア活動相談（7件） 対応（5件）
		12月	ベルファ都島ショッピングセンター	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の移動（外出）に関するアンケート結果や聞き取り調査から見えてきた課題から買い物支援サービスを実施 お買い物ツアーの実施
	小地域活動者に対する研修の実施	7月	旭区在宅サービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> 地域での集いの場等に関わる地域の活動者を対象に、小地域活動者交流会を実施 コミュニケーション麻雀DE大交流会 地域活動、居場所づくりに関する講習

	事業名	開催月	開催場所	内容
③活動の場の発掘・開発	男のカフェ「火の鳥」	4月～2月	旭区在宅サービスセンター 他	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2金曜日に男のカフェ「火の鳥」を開催（11回） ・出張カフェの開催（5回）
	コミュニケーション麻雀体験会	4月～2月	旭区在宅サービスセンター 他	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2金曜日、第4月曜日にコミュニケーション麻雀体験会を開催（22回） ・出張麻雀の開催（5回）
	もの忘れの気になる人の会	9月～2月	中宮老人憩の家	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2火曜日に「もの忘れの気になる人の会 I N中宮老人憩の家」を開催（6回）
	野菜づくりと食をつなげる取組み		グループホームつながり城北	<p>城北地域にあるグループホームの所有する空地を活用し、畑づくりを通じた地域交流の場づくりを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームとの打ち合わせの実施 ・地域関係者との意見交換会の実施 ・畑づくりに向けた土壌整備
④サービス実施情報の提供・周知	広報紙発行	10月・12月	—	<ul style="list-style-type: none"> ・あさひふれあいMAPの発行

11 旭区子ども・子育てプラザ事業報告

在宅において子育て中のご家庭や地域の子育て活動を支援するため、様々な情報の提供や講座・イベントの開催、乳幼児とその保護者が自由に遊べる場所の提供等を行いました。

(1) 子育て活動支援事業

ア 事業趣旨

次代を担う子どもの健やかな育成と家庭や地域の子育て力を高めるため、在宅で子育て中のご家庭や地域の子育て活動を支援するとともに、乳幼児期の親や子育て支援関係者、就学期の子どもたちが集い交流する機会を提供し、地域福祉活動の推進を図ることを目的としています。

イ 主な事業内容

(ア) 子育て情報の提供

- ・子育て支援サービス・施設・団体等の情報提供
- ・子育て支援の情報誌の作成

(イ) 子育てサークルへの活動支援

- ・活動場所の提供や資料提供・備品の貸し出しなど

(ウ) 子育て支援講座や親子イベントの開催

- ・手形を押そう、こいのぼりを作ろう、七夕飾り、運動会、クリスマスコンサート、身体測定、新春のつどい、プラザで豆まき、英語であそぼう、親子リトミック、スプリングシアターなど

(エ) 児童健全育成事業

- ・昨年同様、子どもたちの何か「手伝いたい」という声を形にした「子ども職員」を新たなメンバーを募集して継続実施しました。また、活動内容を充実するため、「子どもボランティア会議」についても継続実施しました。その会議での成果をプラザ事業等、特に乳幼児が参加する「つどいの広場」で活かしました。
- ・スノードーム作り、友だちとクッキング、プラバン工作、クリスマスツリー作り、アクセサリー作りなどの行事の開催
- ・自由な遊びの機会の提供など

(オ) 地域関連事業（アウトリーチ）

- ・各地域子育てサロンへ訪問し運営支援を行うとともに、プラザ事業の周知を図りました。また、親子リトミック等の出前講座や出張プラザ（バルーンアートなど）を実施しました。
- ・区内の小学校、子ども食堂において出前講座（プラバン工作）を実施しました。

(カ) その他

- ・児童青少年団体や地域の公的な団体等の活動場所の提供
- ・森小路保育所との連携・相互交流
- ・子育て機関と連携し、わいわい広場（6月）や幼稚園・保育園（所）情報フェア

(8月)に参画。また、区役所内で実施している「子育てガイド」と連携し、当プラザ内で各種の相談や情報提供を行う「子育てガイドデー」を実施しました。

ウ 利用状況

○利用者数（遊びの場の提供、講座、イベント）

乳幼児	小学生	中・高校生	大人	その他来館者	計
2,613人	4,645人	78人	2,968人	61人	10,365人

※ファミリー・サポート・センター事業を除く

○子育てサークル

年間登録サークル数	3サークル
延べ利用回数	32回（1サークル：月4回まで利用可）
延べ利用人数	207人（乳幼児の保護者）

○一般利用サークル

年間登録サークル数	5サークル
延べ利用回数	161回（1サークル：月4回まで利用可）
延べ利用人数	2,025人（小・中・高校生、大人）

○地域関連（子育てサロン、マタニティカフェ、おもちゃ病院、出前講座等）

乳幼児	大人	計
225人	207人	432人

(2) 大阪市つどいの広場事業

ア 事業内容

つどいの広場事業は、主に乳幼児(0～3歳)を持つ親とその子どもが気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で語り合い、交流を図ることや自由に利用できる場所を提供しています。

利用については、火曜日～土曜日の9時30分～12時まで

ダイニングルーム 12時～14時まで

赤ちゃんルーム（和室） 9時30分～14時30分まで

イ 主な定例事業・行事

- ・お誕生会
- ・ベビーマッサージ

- ・地域ふれあい子育て教室
- ・似顔絵を描いてもらおう
- ・ブックスタート

ウ つどいの広場利用者数

○利用者数

乳 幼 児	保 護 者	計
3, 9 4 7人	3, 3 8 6人	7, 3 3 3人

○利用者数（ブックスタート）

乳幼児	大人	計
7 3人	8 8人	1 6 1人

(3) ファミリー・サポート・センター事業（支部業務）

ア 事業内容

大阪市は、「子育てを援助してほしい方」と「子育てを援助できる方」を会員として登録し、会員同士が子育てを支えあう「大阪市ファミリー・サポート・センター事業」を実施しています。会員による子育ての相互援助（子育てを援助してほしい方と子どもの預かりや送迎ができる方をコーディネート）により、地域で子育てを支えあうサポートをしています。円滑に事業実施をするため、「大阪市立男女協同参画センター子育て活動支援館（クレオ大阪子育て館）」に本部を設置し、各区プラザに支部を設置し連携しています。支部業務は区内での会員募集・登録及び相互援助活動の調整にかかる事務、本部・近隣支部・関係機関との連絡調整、区内広報活動、会員研修などを行いました。

- ・ 依頼会員 大阪市内在住で、生後3か月から10歳未満の子どもがいる、子育てを援助してほしい方
- ・ 提供会員 大阪市内在住で、子どもの預かりや送迎ができる方（但し、提供会員養成講座の受講が必要です。）

イ 利用状況

提供会員数	依頼会員数	両方会員数	総ペア数	援助活動依頼件数	援助活動実施件数
3 3人	5 8人	3人	7 7組	5 8件	4 6 9件